

2F

サンウエーブ システムキッチン 取扱説明書

このたびはシステムキッチンをお買い
あげいただき、ありがとうございます。
お使いになる前に、この説明書をお読
みいただき、安全にご使用くださいま
すようお願いいたします。 ㊦

この取扱説明書は加熱機器や電気製品などの
専用の取扱説明書と一緒に、いつでも使える
場所に保管してください。

目次 contents

- ① 特に注意していただきたいこと..... 1、2
- ② システムキッチン各部の名称..... 3
- ③ 使い方..... 4~11
- ④ 調整方法..... 12~14
- ⑤ お手入れについて..... 15~19
- ⑥ 故障・修理について..... 20
- ⑦ アフターサービス..... 21

安
全

使
い
方

調
整
方
法
・
お
手
入
れ
に
つ
い
て

サ
ー
ビ
ス



■アフターサービスのお問い合わせ
修理のご依頼・サービス部品のご用命は下記のサンウエーブお客さま
センター「修理受付ダイヤル」までお願い致します。

☎ 0120-0000-72

※IP電話等でつながない場合は、
恐れ入りますがTEL.03-5283-8757に
お掛けください。

■受付時間

月～金：9:00～20:00 土日祝：9:00～18:00 定休日：年末年始、夏期休暇

■商品についてのお問い合わせ

お近くのショールームまたは下記のサンウエーブお客さまセンター「お客さま
ダイヤル」までお願い致します。

☎ 0120-1905-21

※IP電話等でつながない場合は、恐れ入りますがTEL.03-5283-8760にお掛けください。

■受付時間 月～日：9:00～18:00 定休日：年末年始、夏期休暇

○お客さまセンター 東京都千代田区猿樂町2-6-10 FAX.03-5280-8718
(2008年8月1日現在)

※上記の内容は、予告なく変更することがあります。

生活ごちを、カタチにします
sunwave
サンウエーブ工業株式会社
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-10
TEL.03(3518)4311(大代表)

この安全上の注意をお読みの上、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害にむすびつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見られる場所に必ず保管してください。



注意

この表示を実行しない場合、傷害を負う可能性と物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。



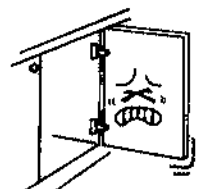
この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。



注意

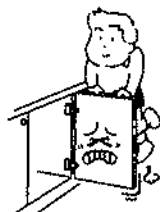
●扉を大きく開けすぎない。

丁番が外れ、ケガをするおそれがあります。



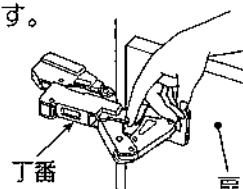
●扉や取っ手に乗らない。

扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特に、お子さまにはご注意ください。



●扉開閉時に丁番にさわらない。

丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



●熱湯や、てんぷら油を直接排水口に流さない。

排水装置が変形したり、排水パイプに穴があいて、水もれの原因になります。ゆでこぼしは、水道水の水を流しながら行ってください。



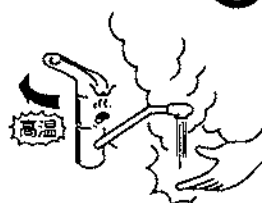
●加熱機器の使用時、使用直後は、加熱機器周辺に手をふれない。

加熱機器周辺の表面温度が高くなっているので、ヤケドをするおそれがあります。



●混合水栓を使用する時は、必ず水を先に出す。

水栓及び熱湯で、ヤケドをするおそれがあります。特に、小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。



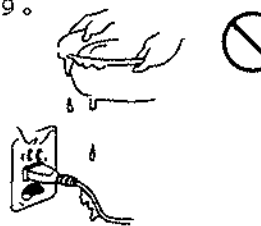
●角に頭をぶつけないよう注意する。

思いがけないケガをするおそれがあります。



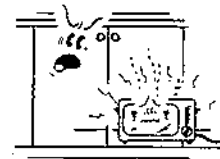
●コンセントに水をかけない。

漏電やショートしたり火災のおそれがあります。



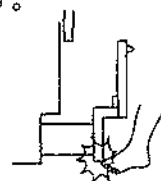
●扉を閉めたキャビネット内で、電気製品を使わない。

電気製品が故障したり、火災のおそれがあります。



●フロア引出しは、引出す時に足をぶつけないように注意する。

足の指をはさんで、ケガをするおそれがあります。



アフタサービスについて

ご不審な点や故障のおきた際には、お買いあげいただいた販売店か、サンウエーブお客様センター「修理受付ダイヤル」までご連絡ください。

1 点検・修理の申し込み方法

- 不具合がありましたら、本説明書の点検・修理のページ（20ページ）をご覧ください。一度調整をしてみてください。
- 点検をしても直らない場合や、記載している以外の不具合がある場合は、ご自分で修理しないで、お買いあげいただいた販売店か、修理受付ダイヤルまでご連絡ください。

■お申し込みの際は次のことをお知らせください。

1. 品名	システムキッチン
2. 品番	品番と製造番号及び邸No.もあわせてお知らせください。 (キャビネット内側に貼付している「検査証」に記載されています) 〈例〉 システムキッチン本体以外の電気製品などについては、専用取扱説明書と製品本体に品名表示があります。
3. 状態	不具合の状態をできるだけ詳しくお知らせください。
4. 道順	ご自宅の住所、電話番号、付近の目印もお願いします。
5. 日時	訪問ご希望日と時間をお願いします。

〈個人情報の取り扱いについて〉

- お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために利用させていただきます。
- 修理やその確認業務を当社の関係会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提出いたしません。

お客さまメモ 後日のため記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役に立ちます。

ご購入年月日	年 月 日
購入店名	電話 (-)

2 保証について

当製品はお引き渡しの日から1年間無料修理いたします。BL認定品は製品及び施工の不具合について、シンクの防水機能、キャビネット本体の剛性については5年間、その他の不具合に付いては2年間無料修理いたします。また、BL認定品には製品及び施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付されています。BL認定品はシンクキャビネットの扉の裏面にBLマーク証紙が貼付されています。
(但し、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費は有料となります。)

保証期間中でも次の場合は有料修理といたします。

- 取扱説明書および注意ラベルによらない使用や維持管理を行わなかったことによる故障および損傷。
- 住宅用途以外で使用情况や引き渡し後の設置場所の移動、落下などによる故障および損傷。
- 不当な修理や分解、改造による故障および損傷。
- 火災、天災、地震、その他の不可抗力による故障および損傷。
- 建築躯体の強度不足、ゆがみ、劣化、その他本体製品以外の不具合に起因する故障および損傷。
- 塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の変化および消耗品の消耗に起因する不具合。
- 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
- ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合。
- 電気製品などの個々の機器に保証書のあるものは、各機器の保証書に従ってください。

3 サービス部品(補修用性能部品)について

- サービス部品のご用命は、サンウエーブお客様センター修理受付ダイヤルまでご連絡ください。
- *電気製品などの補修用性能部品最低保有期間については、それぞれの専用取扱説明書をご覧ください。

4 廃棄処分について

廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

注意

■センターキッチン(加熱機器使用時)

- ガス前ガラスの前に防熱板を設置し、レンジフードを運転する。
ガス前ガラスの表・裏面が高温になるおそれがあります。
(ハーフガス前ガラスでキッチン奥行97cmの場合、防熱板の設置は不要です。)
- 防熱板やガス前ガラスに触れない。
使用中・使用後に触れるとヤケドをするおそれがあります。
- ガス前ガラスを急冷しない。
水をかけるなどして急冷すると、ガラスが割れるおそれがあります。

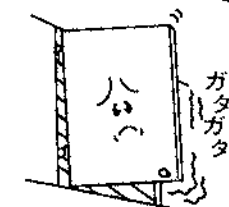
■センターキッチン

- 角に頭や身体をぶつけないように注意する。
思いがけないケガをするおそれがあります。
- ワークトップやカウンターには絶対に乗ったり、ぶらさがったりしない。
落下してケガをするおそれがあります。

●扉が傾いたり、ガタついてる時は、丁番のネジをしめなおす。

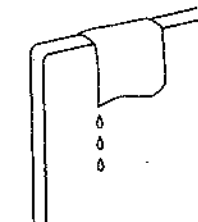
扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

※丁番の調整方法：12ページ参照



■扉・エンドパネル

- エンドパネルに濡れた布巾等を掛けない。
- 扉やエンドパネルに水が掛かったらすみやかに拭きとること。
長時間ぬれたまま放置するとふくれたり、剥がれるおそれがあります。



■引出しの開閉

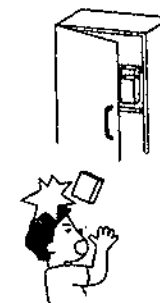
- 開閉時は指をはさまないよう注意する。
ケガをするおそれがあります。
- 開閉は一段ずつ行う。
上下または左右の引出しをともに開閉すると鏡板同士がこすれて、扉に傷がつくおそれがあります。

■スマートポケット

- 包丁差しに包丁を収納する際は、汚れや水分を拭きとってください。

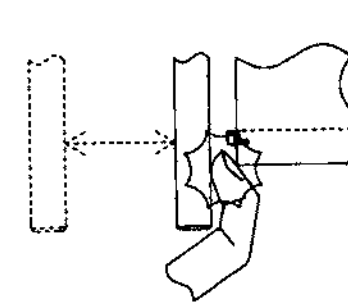
■地震後の扉の開閉

- 扉は注意して開ける。
収納物がとび出してケガをするおそれがあります。



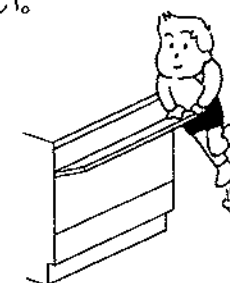
■吊戸扉(取っ手レス)の開閉

- 指をはさまない。
指をはさんでケガをするおそれがあります。



■スマートポケット

- 扉や取っ手にぶらさがったり、扉を大きく開けすぎない。
扉や取っ手や丁番がはずれてケガをするおそれがあります。特に、小さいお子さまのいるご家庭ではチャイルドロック(10ページ)を使用してください。



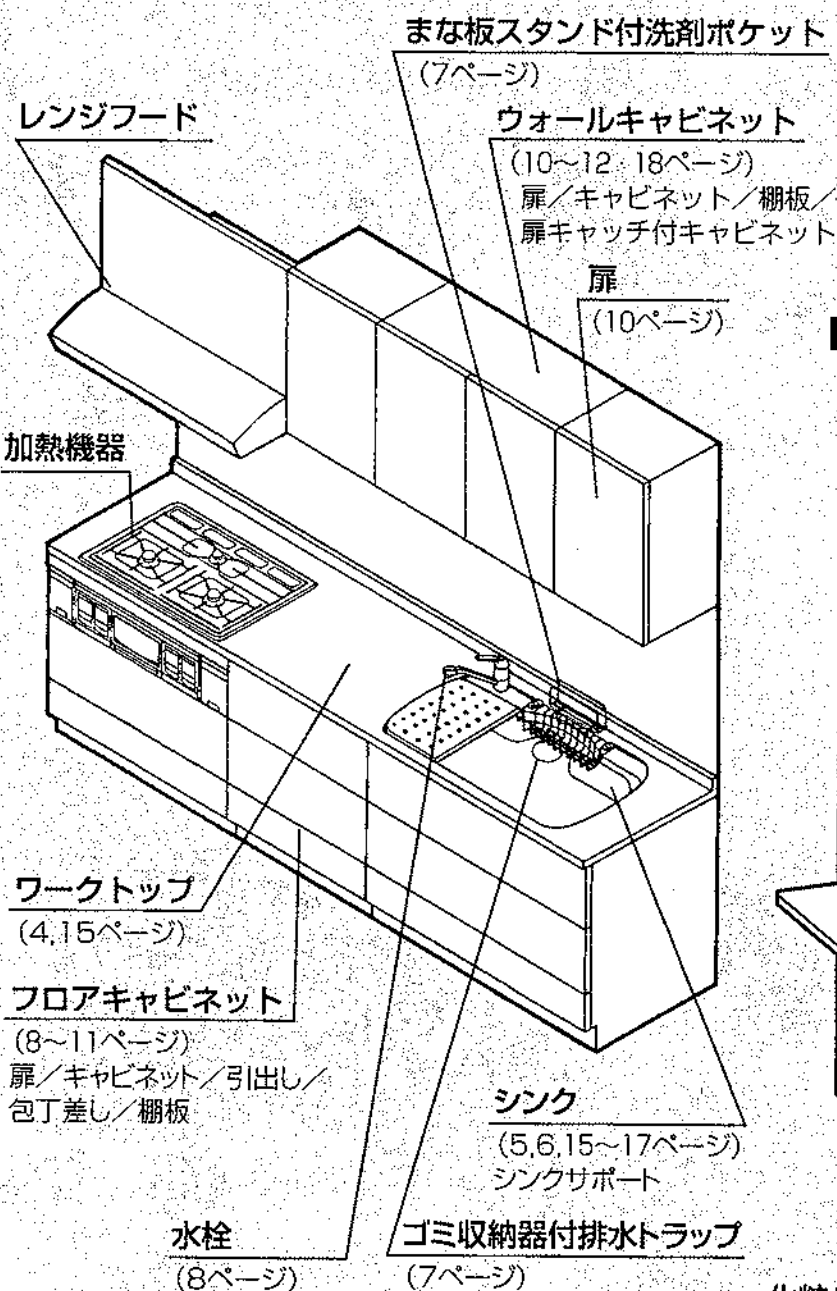
お願い



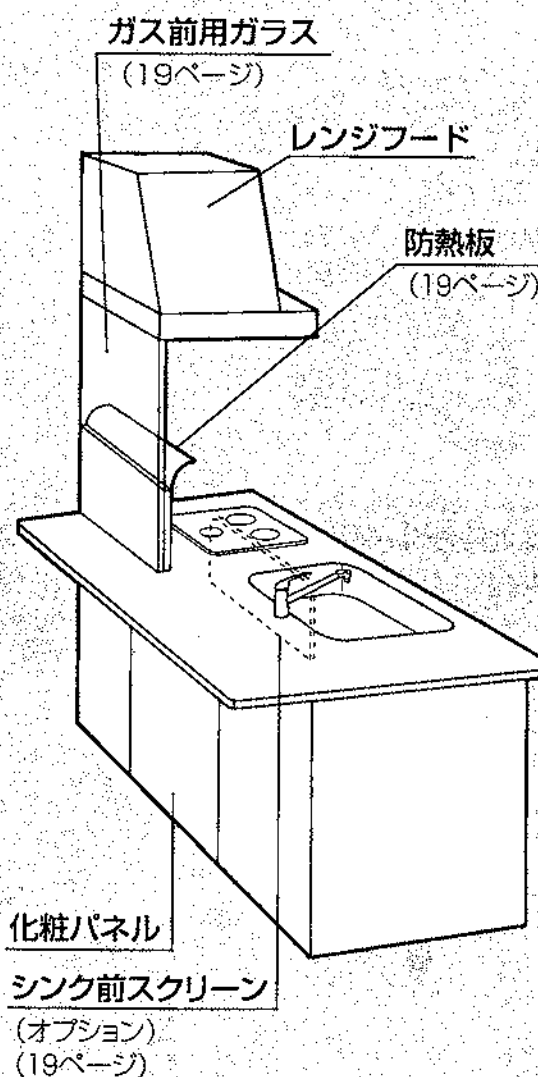
キッチン本体以外の機器等(3ページ下段)には専用の取扱説明書があります。食器洗い乾燥機の排熱(蒸気)によるキッチン本体及び周囲の収納物への影響、また、IH機器の排熱による周囲の収納物への影響はキッチン本体の注意事項と異なる場合があります。必ずお読みください。
お手入れに使用する洗剤、薬剤は取扱説明書や容器等の注意事項、禁止事項を必ずお読みください。

2 システムキッチン各部の名称

■壁付キッチン



■センターキッチン



●図はシステムキッチンのレイアウト例です。

加熱機器、レンジフード、食器洗い乾燥機、水栓などについては専用の取扱説明書をご利用ください。この説明書は使用上支障のない範囲で略図や写真を使用して説明しています。お客さまの商品と一部異なる場合がありますので、ご不明の点はお買い上げいただいた販売店か、お客さまダイヤルまでご相談ください。

※ガス前用ガラスは高さの低いハーフタイプもあります。

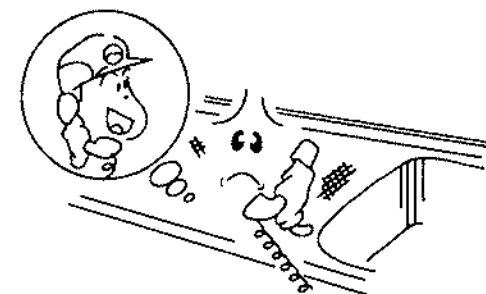
※レンジフードでの煙の捕集は、窓やエアコンなどによる風の流れ、人の動きなどに大きく影響を受けます。調理中は煙を効率よく捕集するために、外部からの風がレンジフード周辺にあたらないように注意してください。

6 故障・修理について

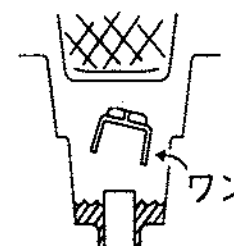
製品には万全を尽くしておりますが、長い間使用していると多少の不具合が出る場合があります。その場合は以下のように行ってください。

1 ワークトップ、シンク、扉

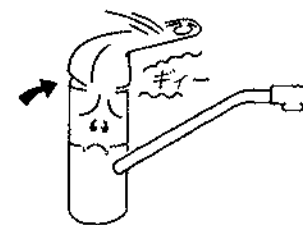
■人造大理石トップやステンレストップ、また扉についた細かいキズや変色には修理できるものもあります。お早めに、お買いあげいただいた販売店か、修理受付ダイヤルまでご連絡ください。



■シンクの排水が詰まったり、流れにくくなったときは、ワンを外して掃除してください。詳しくは、7ページのゴミ収納器付排水トラップの項目をお読みください。



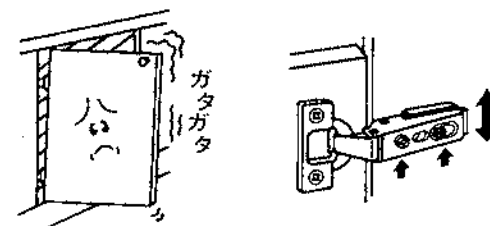
■水栓レバーは、長い期間使用すると、レバー操作時の抵抗が大きくなります。これは故障ではなく、水垢などによるグリースの消耗が原因です。お買いあげいただいた販売店か、修理受付ダイヤルまでご連絡ください。



2 キャビネット

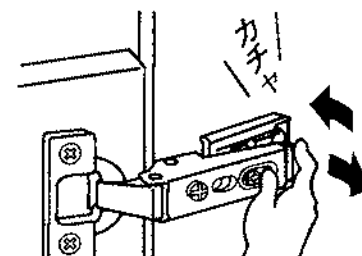
■扉がガタつく

扉の吊り元の丁番がゆるんでいませんか？ゆるんでいたなら締め直してください。ネジ調整が必要です。扉の調整の説明(12ページ)をよく読んでください。



■扉がはずれた

扉の吊り元の丁番がはずれていませんか？ワンタッチ丁番ですのでスムーズに取付けできます。扉の取外しの説明(12ページ)をよく読んでください。



本製品のホルムアルデヒド発散区分

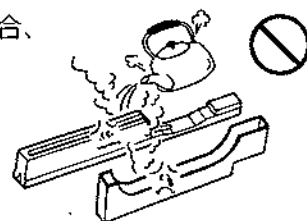
表 示 内 容			
1 商品名	システムキッチン	6 ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB F☆☆☆☆ MDF F☆☆☆☆ 合板 F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆
2 製造企業名	サンウエーブ工業株式会社	7 本表示に関するお問い合わせ先	HP http://www.sunwave.co.jp ☎0120-1905-21
3 ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上部分及び下地部分とも F☆☆☆☆		
4 表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」キッチン・バス工業会表示指針による		
5 製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。		

7 スマートポケットお手入れ方法

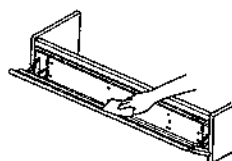
- スマートポケットをお手入れする場合は家庭用のワックスやシンナーアルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しない。
変色や光沢をなくしたりして、化粧面を傷つけます。



- スマートポケットの内装品をお手入れする場合、熱湯消毒はしない。
内部が変形するおそれがあります。



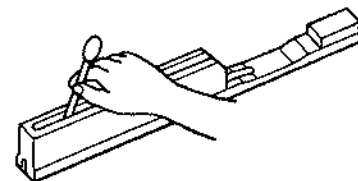
- スマートポケットの内面をお手入れする場合は、内装品を外すとお手入れしやすくなります。汚れは布かスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。仕上げは水をふくんだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシや綿棒等で取除いてください。



- スマートポケットの外装（化粧面）をお手入れする場合は柔らかい布でからぶきしてください。

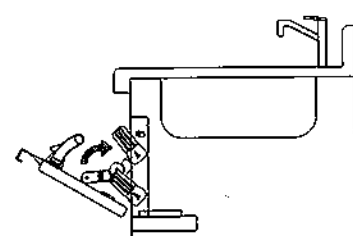
■内装部品のお手入れ方法

内装部品は水で丸洗いができます。丸洗った後は、乾いた布でからぶきしてください。
内装部品のお手入れのしづらい箇所は、ブラシや綿棒等で隅にたまったゴミを取り除いてください。

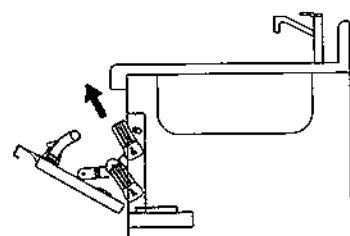


■内装部品の外し方

- ①スマートポケットを開いてください。
 - ②包丁差しをシンク方向に垂直におこします。
 - ③やや手前上方に持ち上げてください。
- ※小物入れも同様の手順で取外し可能です。



シンク方向に垂直におこしてください。

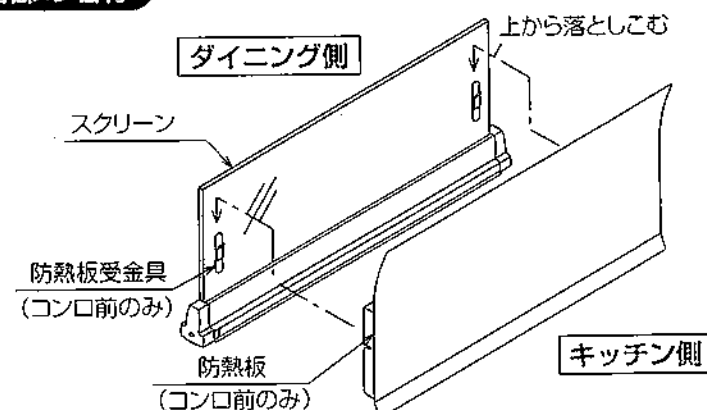


やや手前上方に持ち上げて外してください。

8 コンロ前用ガラス・防熱板・シンク前スクリーン（オプション）のお手入れ方法

- コンロ前用ガラス・シンク前スクリーンは、ガラス用洗剤か中性洗剤を布またはスポンジに含ませて汚れを落として、乾いた布でふきあげてください。
- 防熱板は取り外して布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて汚れを落としてください。そのままにせず水を含んだ布で拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。取付金具等のお手入れしにくい部分に関しては、ブラシ等でゴミを取除いてください。

各部の名称



- 防熱板は上に引き上げると取付金具から外れて取外することができます。

注意 加熱機器使用直後は、防熱板を外す時にヤケドをするおそれがあります。

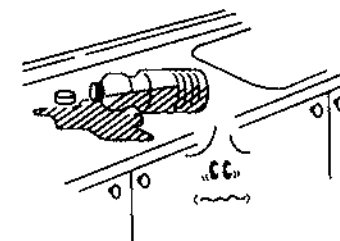
3 使い方

1 ワークトップ（ステンレストップ・人造大理石トップ）

使用上のお願い

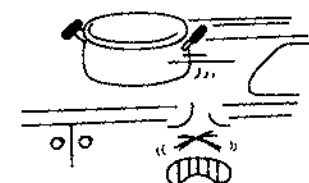
- 汚れはすぐ洗い流す。

醤油・食酢・煮こぼれ・調味料などの汚れはすぐに洗い流してください。たまった水はふきとってください。放置すると汚れが落ちにくくなり、ワークトップの変色の原因になります。ステンレストップの場合はサビの原因になります。



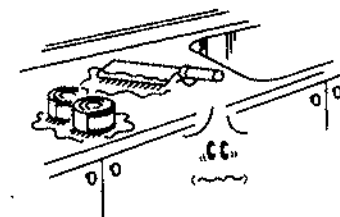
- なべなどを引きずらない。

ワークトップの上でなべや大皿などを引きずると、表面に傷がつきますので避けてください。



- 濡れた鉄製品を放置しない。

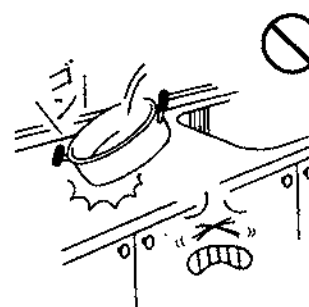
濡れた包丁や缶は、長時間放置しないでください。ステンレストップのもらいサビの原因となります。



- 衝撃を与えない。

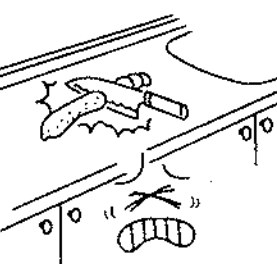
なべなど硬い物・重い物を落とすと、ワークトップ表面が傷つき、または変形します。人造大理石トップは割れることがありますので気をつけてください。

特に人造大理石トップ



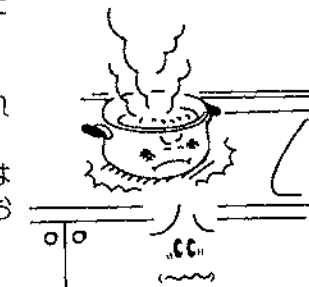
- 包丁などを直接使用しない。

包丁やナイフなどの刃物を、ワークトップに直接あてると表面が傷つきます。



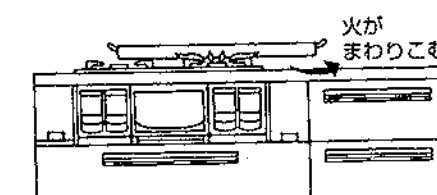
- 熱いものを直に置かない。

沸騰したヤカンや熱したフライパン、火の付いたタバコをトップに直接置かず、鍋敷きや灰皿をご利用ください。特に人造大理石トップは、熱によって変色するおそれがあります。また、ステンレストップは裏面の補強板がはがれるおそれがあります。



- 鉄板を使うときははみださないようにする。

火がまわりこんでカウンタートップがこげるおそれがあります。



2 シンクまわり (シンク、洗剤ポケット、ゴミ収納器付排水トラップ、水栓)

お客様のお使いの機種によっては、設定のないシンクもあります。

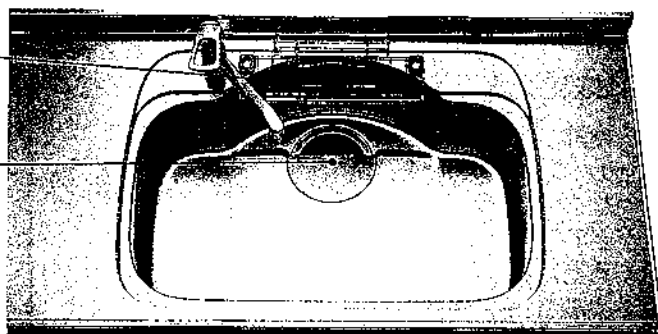
■センターポケットシンク

ステンレスシンク用洗剤ポケット

スポンジや洗剤を収納したり、ぬれたまな板の仮置きができます。

ゴミ収納器付排水トラップ

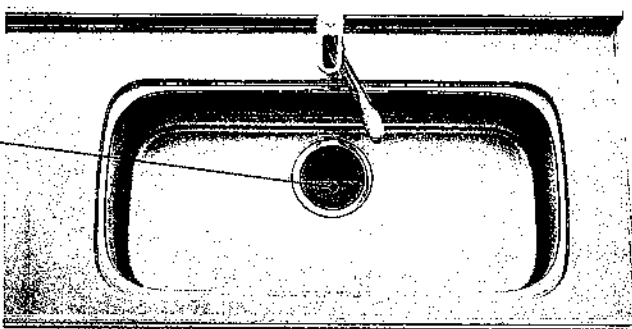
- ゴミ収納器付排水トラップ (標準)
- ステンレスシンク用洗剤ポケット (標準)
- 樹脂製排水フタ (標準)
- 水切りトレイ (オプション)



■フレンジ付シンク

ゴミ収納器付排水トラップ

- ゴミ収納器付排水トラップ (標準)
- 樹脂製排水フタ (標準)
- 水切りトレイ (オプション)



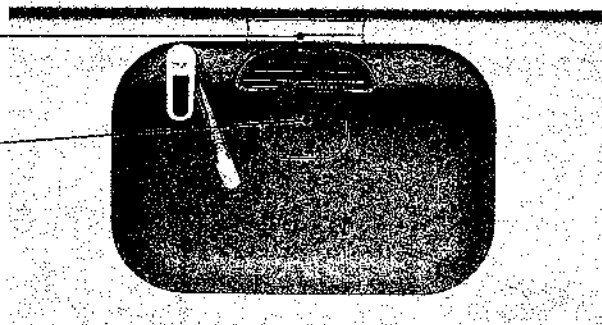
■人造大理石シンク

人造大理石シンク用洗剤ポケット

スポンジや洗剤を収納したり、ぬれたまな板の仮置きができます。

ゴミ収納器付排水トラップ

- ゴミ収納器付排水トラップ (標準)
- 人造大理石排水フタ (標準)
- 人造大理石シンク用洗剤ポケット (標準)
- 水切りトレイ (オプション)



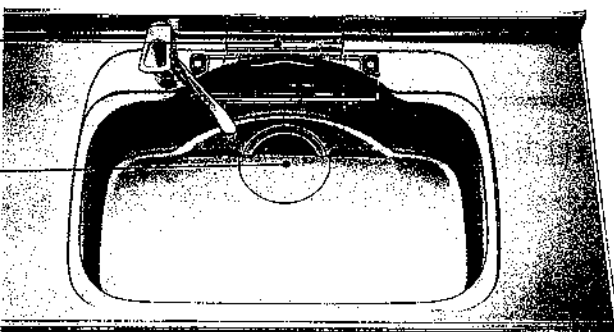
■センターポケットシンク (デュアルコートタイプ)

ステンレスシンク用洗剤ポケット

スポンジや洗剤を収納したり、ぬれたまな板の仮置きができます。

ゴミ収納器付排水トラップ

- ゴミ収納器付排水トラップ (標準)
- デュアルコート排水フタ (標準)
- ステンレスシンク用洗剤ポケット (標準)
- 水切りトレイ (オプション)



デュアルコートタイプは、汚れやキズが付にくい特殊コーティングがしてあり、シンク表面にドット調エンボスが施されています。

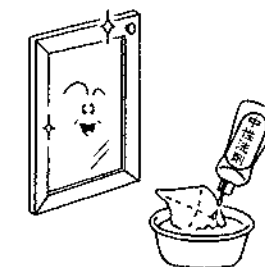
3 扉・ガラス扉・化粧パネルのお手入れ方法

- 通常のお手入れは柔らかい布でからぶきしてください。布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でからぶきしてください。塗装仕上げ扉は水しぶきのままにしないで、必ず乾いた布でふきあげてください。光沢がなくなったり表面を痛めます。

- ガラス扉の場合は、ガラス用洗剤か、中性洗剤を布またはスポンジに含ませてふいてください。

- 化粧パネルのお手入れは、布または薄めた中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤を拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。塗装仕上げのパネルは、水しぶきのままにしないで、必ず乾いた布でふきあげてください。光沢がなくなったり、表面を傷めます。

- 樹脂パネル扉 (ドア) の場合は、布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でからぶきしてください。また、乾燥した日には樹脂パネル扉 (ドア) に静電気が発生しほこりが付きやすくなりますので、こまめにお手入れしてください。



4 引出しのお手入れ

- 引出しは汚れが溜まりやすい所です。ときどき取外して布やスポンジに中性洗剤をつけて汚れをふきとります。洗剤は水を含んだ布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。

- フロア引出しの場合、下端にパッキンが付いています。パッキンが汚れた場合は、水を含んだ布で、汚れをふきとってください。



5 キャビネットのお手入れ方法

- キャビネットの汚れは布かスポンジに中性洗剤をつけてふきとります。洗剤は水を含んだ布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシで取除いてください。油・調味料・食品の汚れを放置しているとサビやカビの原因になりますので早めにお手入れしてください。



6 取っ手のお手入れ方法

- 取っ手へゴミ部にほこりがたまる場合があります。こまめにお手入れしてください。お手入れ方法は、扉のお手入れ方法を参照してください。

お手入れ上のお願い

- 家具用ワックスやシンナー、アルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色や光沢をなくしたりして、表面を痛めます。



注意

必ず、以下の内容をお読みください。

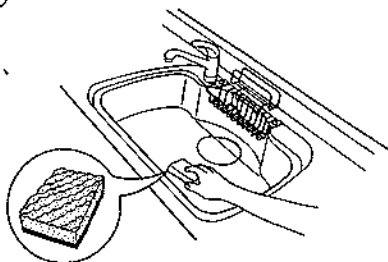
■耐水ペーパーやナイロンタワシなどをご使用になる際は、軽い力で円を描くように均一に研磨してください。

同じ箇所を研磨すると、凹みの原因になります。

■研磨した部分と研磨していない部分のツヤが異なる、または見る角度によって若干色が異なって見えることがあります。性能上支障はありません。

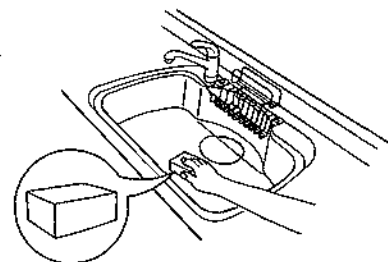
①毎日のお手入れ

ウレタンスポンジ（食器用スポンジ）や布で、水洗いまたは中性洗剤をつけて汚れを落としてください。



②がんこな汚れ

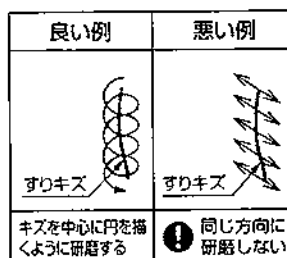
同梱のメラミンスポンジに水を含ませて、汚れが気になる部分をこすってください。



※キズ直しのポイント

■一定の方向にならないように、キズを中心に円を描くように研磨してください。

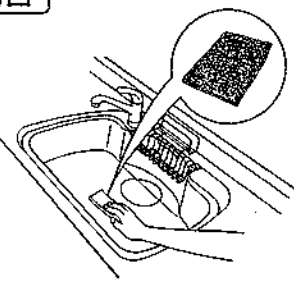
■ツヤの違いが気になる場合は、適量のクレンザーをスポンジにつけて、研磨部と未研磨部の境目をこすってなじませてください。



③すりキズが気になる場合

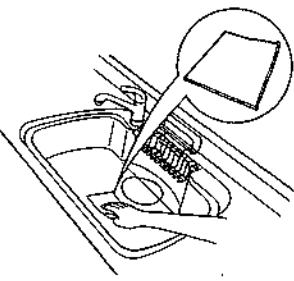
同梱のナイロンタワシで円を描くように研磨してください。

研磨し過ぎますとツヤが出ますので、状況を見ながら研磨してください。仕上げに、同梱のメラミンスポンジに水を含ませて軽くこすってください。



④浅いキズの場合

同梱の耐水ペーパー（#320）に水を付けて、円を描くように研磨してください。仕上げに、同梱のメラミンスポンジに水を含ませて軽くこすってください。



⑤深いキズや欠けが発生した場合

包丁などの鋭利なものを落としてついた深いキズや欠けは、補修が必要となります。有償にて修理を承っておりますのでお買い上げの販売店、またはサンウエーブお客さまセンターまでお問い合わせください。

2-2 デュアルコートシンクのお手入れ方法

このシンクは、汚れやキズが付きにくく目立ちにくい特殊コーティングを施してあります。この性能を長く保つために、以下のことをお守りください。

デュアルコートシンクのお手入れ上のお願い

●タワシ、クレンザー、メラミンスポンジを使用しない。
コーティングを傷つけるおそれがあります。



●砂や泥を洗い流す。
洗い流さずに作業をするとキズがつくおそれがあります。



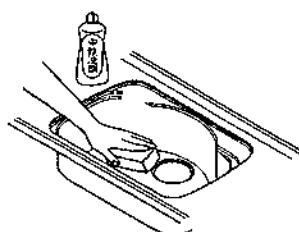
●配管洗浄用洗剤が付着した場合は速やかに洗い流す。
付着したまま放置するとコーティングを痛めます。



デュアルコートシンクのお手入れ方法

毎日のお手入れ

ウレタンスポンジ（食器用スポンジ）に少量の中性洗剤をつけて洗ってください。洗い終わったら、水で洗い流してください。



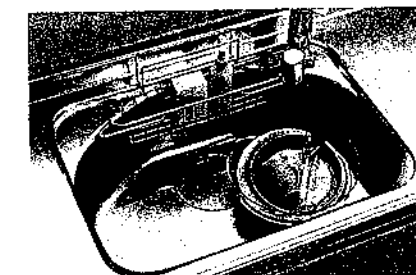
シンクの上手な使い方

鍋底などが、水の流れをさまたげません。



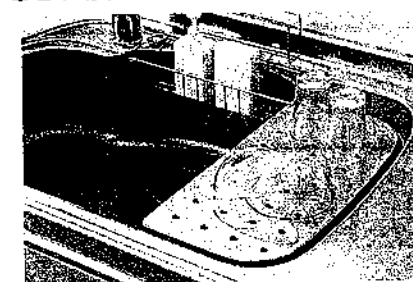
デュアルコートシンク センターポケットシンク

洗剤ポケットは外して水洗いができます。濡れたまな板を収納できるまな板スタンド付きです。



人造大理石シンク デュアルコートシンク
センターポケットシンク

シンクなのに調理スペース。水切りトレーのセットで、調理面はさらに広がります。



センターポケットシンク デュアルコートシンク
フレンジ付シンク

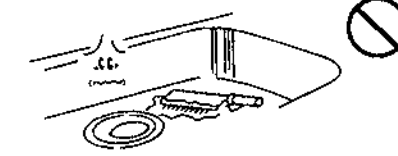
※水切りトレーとまな板はオプションです。

シンク使用上のお願い

●高温の油や熱湯を流さない。
高温の揚げ油などを直接シンクに流すと、パッキンや排水ホースの寿命を縮めます。自然環境を守る意味からも絶対に避けてください。



●ぬれた鉄製品を放置しない。
ぬれた包丁や缶、ヘアピンなどをシンクに長時間放置しないでください。サビが移る（もらいサビ）ことがあります。



●塩分はすぐに洗い流す。
醤油・食酢・調味料・梅干しなど塩分の強いものはすぐに洗い流してください。放置するとサビや変色の原因になります。



シンクサポート使用上のお願い（水切りトレー）

●高温の油や熱湯をかけない。
変質や変形のおそれがあります。



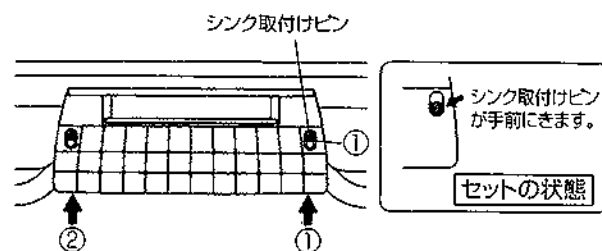
●水切りトレーの上に直接、熱したナベや重量物を置かない。
トレーが変色・変形します。まな板がわりに使わないでください。



- ⚠ 注意** ●付属のまな板以外は置かない。
形が大きいものや厚いものを置くと、倒れたりシンク内に落下してケガをするおそれがあります。
- 洗剤ポケットは、シンクの所定位置にきっちりとセットする。

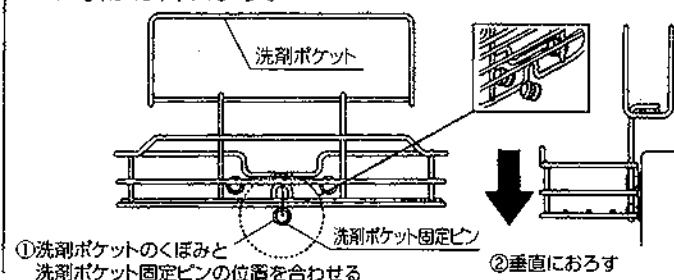
ステンレスシンク用洗剤ポケットのセット方法

- ①の穴にシンク取付けピンが見えるようにセットしてください。
- ②の方向にカチッと音がするまで押してください。
取外しは、逆の操作をしてください。



人造大理石シンク用洗剤ポケットのセット方法

- ①洗剤ポケットピンに洗剤ポケットのワイヤーのくぼみ部分を合わせます。
- ②洗剤ポケットを垂直におろして、3つの洗剤ポケット固定ピンにかかっているかを確認してください。
- ③取外しは逆の手順で、洗剤ポケットを持ち上げて手前に引けば外れます。



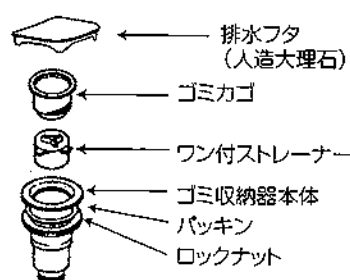
3 ゴミ収納器付排水トラップ

使用上のお願い

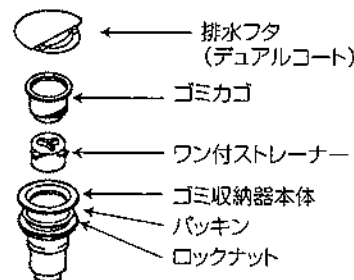
●丸形排水トラップの名称



人造大理石シンク

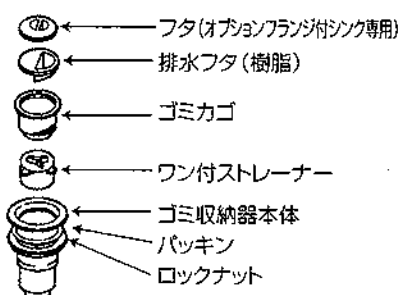


デュアルコートシンク



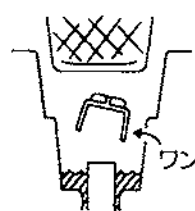
センターポケットシンク

フランジ付シンク



●臭気防止とワンの取外し

排水の流れが悪くなったならワンを外して、掃除をしてください。それでも流れが悪い場合は、排水パイプ用の薬剤を使用してください。薬剤を使用する際は薬剤専用の説明書をよく読んでからお使いください。冬季寒冷地でトラップ部の中にある水が凍ってしまう場合には、ワンを取外しておいてください。



ワンは左に回すとはずれます。

●ゴミはこまめに捨ててください。

下水からの悪臭を防ぐ機構になっていますが、ゴミをためすぎると臭気のもとになります。水の流れも悪くなりますので、ゴミはこまめに捨ててください。

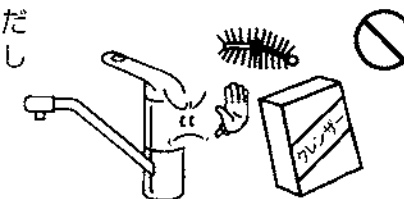


●粘度のあるものや、油類を流さない。

おかゆや調理で残った油などを流すと固まってしまう、トラップの詰まりの原因になります。誤って流した場合は、お湯を鍋等にいっぱいにくみ、数回流してください。

水栓のお手入れ方法

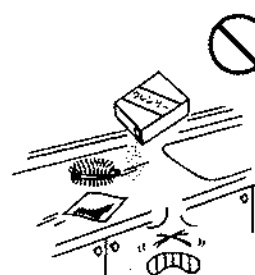
- 洗剤や水アカがついて汚れてきますので、乾いた柔らかい布でふいてください。その際、みがき粉や粒子の粗いクレンザー、陶器用の酸性洗剤は使用しないでください。メッキ面を傷つけたり、侵食するおそれがあります。



シンクまわりお手入れ上のお願い

●金属タワシ等の使用禁止

金属タワシ・ナイロンタワシ・粒子の粗い粉末クレンザーを使用しないでください。シンクに、目には見えない細かいキズをつけます。



●硫酸・塩酸の使用禁止

硫酸・塩酸などの酸類は絶対に使用しないでください。サビや変色のおそれがあります。



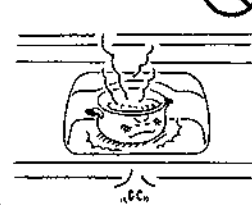
●ヌメリ取り剤の使用禁止

市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は、塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスが錆びる場合があります。使用しないでください。

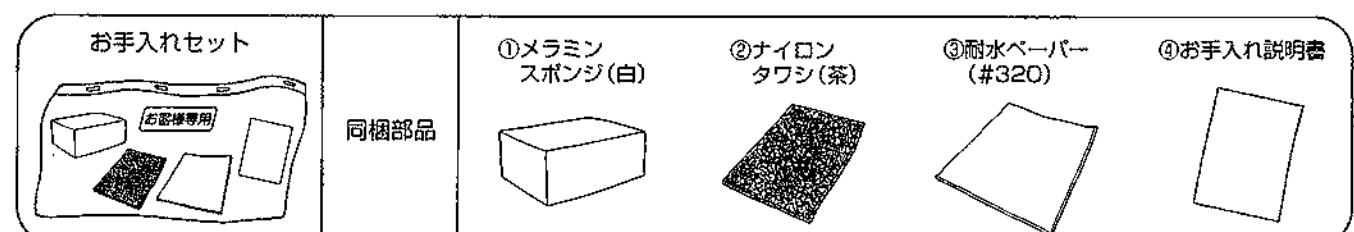


●人造大理石シンクには、熱いものを置かない。

沸騰したヤカンや熱したフライパン、火のついたタバコを人造大理石シンクに直接置かず、鍋敷きや灰皿をご利用ください。特に人造大理石シンクは、熱によって変色するおそれがあります。

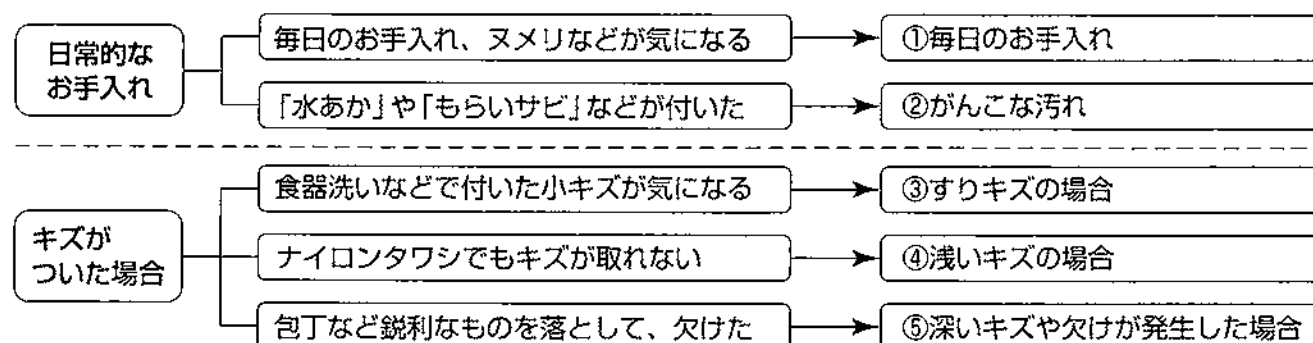


2-1 人造大理石シンクのお手入れ方法



※メラミンスポンジ・ナイロンタワシ・耐水ペーパーは、お近くのDIYで同等のものを購入できます。

汚れ・キズの程度により、お手入れの手順・使用する物が異なります。



5 お手入れについて

1 ワークトップ

お手入れ方法

■ステンレストップ

- 布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
- トップに残った洗剤を固く絞った布でふきとってください。
- ひどい汚れは台所用液体クレンザー（ジフ等）をつけて磨いてください。



■人造大理石トップ

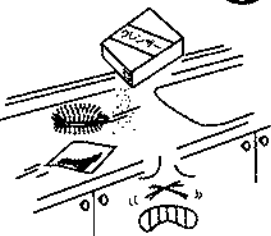
- 水や湯を含んだ布またはスポンジで、こまめにふいてください。週に一度くらい台所用洗剤を含ませた布でふきとると、油性の汚れなどが落ちます。
- トップに残った洗剤は固く絞った布でふきとってください。
- ひどい汚れや落ちにくい汚れはスポンジにクリームクレンザーをつけて、丁寧に磨いてください。



お手入れ上のお願い

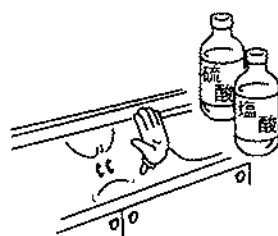
●金属タワシの使用禁止 (ステンレス、人造大理石トップ共通)

金属タワシ、ナイロンタワシ・粒子のあらいクレンザー類をトップのお手入れに使用しないでください。トップ面が傷つくおそれがあります。



●漂白剤、硫酸、アセトン等の使用禁止 (人造大理石トップ)

人造大理石トップには、漂白剤や硫酸、塩酸などの酸類や、アセトン、シンナー、ペイント除去液などの溶剤は絶対に使用しないでください。トップ面が変色・変質するおそれがあります。



●漂白剤、硫酸、塩酸の使用禁止 (ステンレストップ)

ステンレストップのお手入れに漂白剤や硫酸、塩酸などの酸類は絶対に使用しないでください。サビや変色のおそれがあります。



2 シンクまわり (人造大理石シンク⇒16,17ページ デュアルコートシンク⇒17ページ)

シンクのお手入れ方法

- 布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
- 次に水を含んだ布で洗剤をふきとってください。かたづけが済んだら、乾いた布で水滴をきれいにふきとってください。



ゴミ収納器付排水トラップのお手入れ方法

- ゴミカゴやフタ・排水カップ・ワンはこまめにお湯か中性洗剤で洗ってください。



ワンは左に回すとはずれます。

4 水栓 専用の取扱説明書を必ずお読みください。

■水量の調節

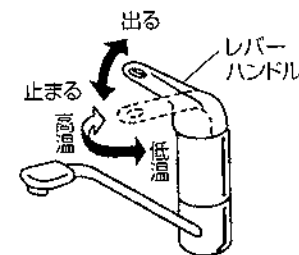
レバーハンドルを上げると水が出、下げると水が止まります。水量はレバーハンドルを上げるにしたがって多くなります。

■温度の調節

レバーハンドルを左方向に回すと温度が上がり、右方向に回すと下がります。

■レバーハンドルの操作

ゆっくり動かしてください。急に操作すると音が出たり、温度が急に変わります。



使用上のお願い

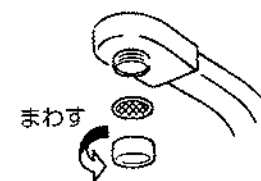
⚠ 注意

●水側にして吐水する。

レバーハンドルを湯側にして吐水すると、熱い湯が出てヤケドをする危険があります。水栓本体も熱くなるのでご注意ください。

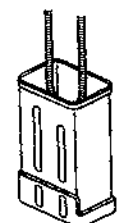


- 吐出口キャップがつまると水量が少なくなったりします。時々キャップをはずし、網につまったゴミを削除してください。



■シャワー水栓（水受容器付の場合）

- シンク下の水受け容器は、水栓使用中にホースを伝わってキッチン内部へ滴下する水を受けるためのものです。月に一度くらい水受容器を点検し、水がたまっていたら容器を取り出し、排水してください。



5 キャビネットと引出し (フロアキャビネット・ウォールキャビネット・フロア引出し)

⚠ 注意

●引出しに乘らない。

引出しを踏み台代わりに使ったり、子供が乗って遊んだりすると落下して、ケガをする危険があります。絶対に乗らないでください。



⚠ 注意

●開閉時は指をはさまないよう注意する。

ケガをするおそれがあります。

●開閉は一段ずつおこなう。

上下または左右の引出しを共に開閉すると鏡板同士がこすれて扉に傷がつくおそれがあります。



●棚板、キャビネットの最大積載重量

棚板の最大積載重量は20kgです。ウォールキャビネットの最大積載重量は60kgです。ウォールキャビネットの最大積載重量は棚板の最大積載重量と併せて守ってください。

●のせすぎたり、重たい物を一カ所に集中させない。

棚板やキャビネットが変形するおそれがあります。また、重たいもの、倒れやすいものは下に置いてください。

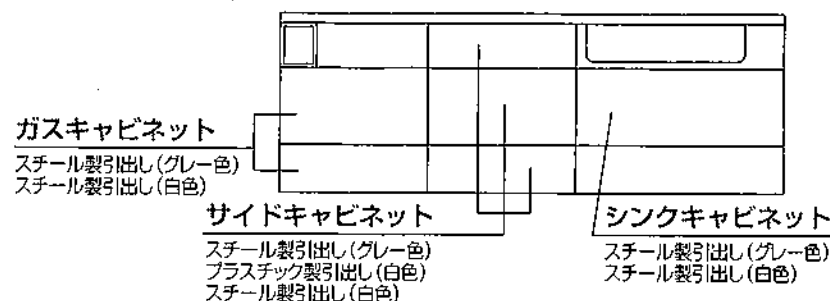
▼重量の目安		
Ⅲ	直径35cm	約1.0kg
Ⅱ	直径25cm	約0.5kg
Ⅰ	直径16cm	約0.2kg
フライパン	直径25cm	約1.0kg

■市販のキッチン用シートを使用する場合。

- こまめに水分をふき取る。化粧板がふくれるおそれがあります。

●引出しの最大積載荷重

引出しの種類により最大積載荷重が異なります。引出しの種類は、側面手前側の形状(下図)をご確認の上、最大積載荷重を守って安全にご使用ください。のせすぎたり、重たいものを一カ所に集中させないでください。



スチール製引出し(グレー色)	プラスチック製引出し(白色)	スチール製引出し(白色)
最大積載荷重: 20kg	最大積載荷重: 10kg	最大積載荷重: 13kg

▼収納物の重量の目安	
ざるセット(大・中・小)	約0.7kg
ボウルセット(大・中・小)	約0.8kg
両手鍋 中	約1.5kg
両手鍋 大	約2.0kg
寸鍋鍋	約3.5kg

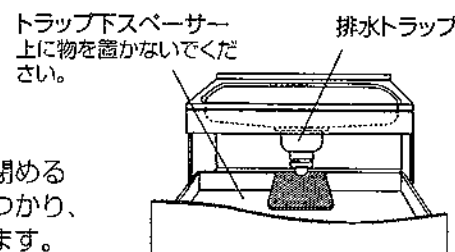
シンク下引出し

■人造大理石シンク、デュアルコートシンク、センターポケットシンクの場合

⚠ 注意

●トラップ下スペーサーにも物を置かない。

トラップ下スペーサーに物を置いて閉めると、排水トラップや排水ホースにぶつかり、傷が付いて、水漏れする恐れがあります。



■シャワー水栓の場合

シンク下引出しの後方に水受容器が付きますので、引出しの奥行きより大きな物を収納する場合はぶつからないよう気をつけてください。

加熱機器の下引出しと横小引出し

⚠ 注意

●ガスコック及びガス管に注意する。

収納物がガスコックおよびガス管に干渉するとガスもれするおそれがあります。

●収納物の種類に注意する。

IH機器は、排熱温度により下側・横側の温度が高くなることがあります。特に調味料・食品(醤油、みりん、調理酒)などは、温度により風味が落ちる可能性がありますので容器に記載された方法でご使用・保存をしてください。

食器洗い乾燥機の下引出し

●熱の影響を受けやすいものは収納しない。

食器洗い乾燥機の下引出しは排熱により高温になるおそれがあります。

6 包丁差し

使用上のお願い

⚠ 注意-落下

包丁差し(扉タイプ)

●包丁差しに包丁を納めるときは、刃先から入れ、中に収まったか確認してください。落とすと指や手足にケガをする恐れがあります。出すときもまっすぐ引出してください。刃の長い包丁は包丁差しより下に刃先が出る場合があります。十分注意してください。

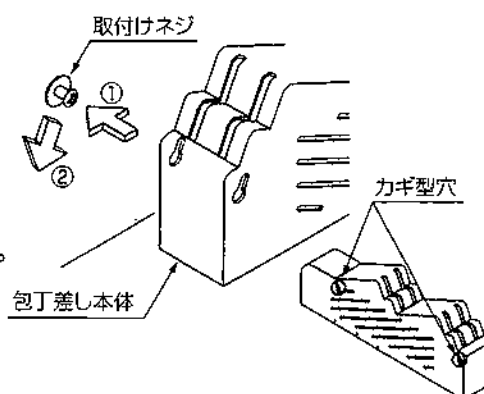
包丁差し(引出しタイプ)

●包丁差しの取付け

1. 本体2ヶ所の力ギ型穴部を取付ネジに差し込みます。
2. 本体を斜め下方にかかるスライドさせると固定されます。

●包丁差しの取外し

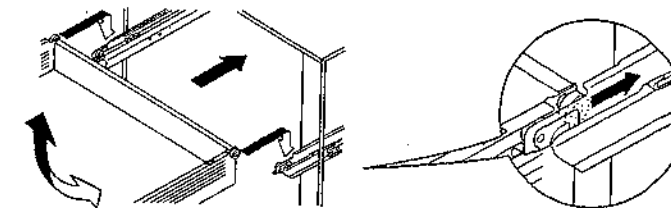
取外しは取付けの逆の操作をしてください。



スチール製引出し(白色)タイプの調整方法

1. 引出しの取外し、取付け

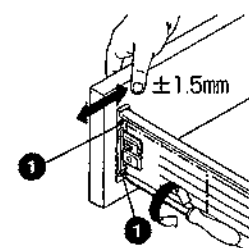
完全に引出した状態で持ち上げ、そのまま引出してはします。取付けは引出しに付いているローラーとレールがかみ合うように引出しを入れてください。



2. 鏡板の左右・上下調整および脱着方法

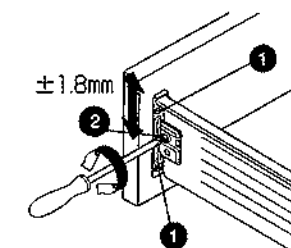
(引出し鏡板の調整)

①左右調整



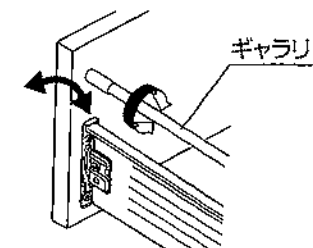
①のねじ(左右)をゆるめると左右に鏡板が動きます。

②上下調整



①と②のねじをゆるめると上下に鏡板が動きます。

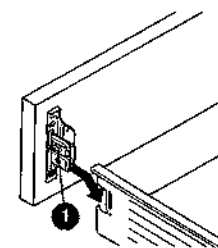
③鏡板のあおり調整



ギャラリを左右に回しあおりを調整してください。

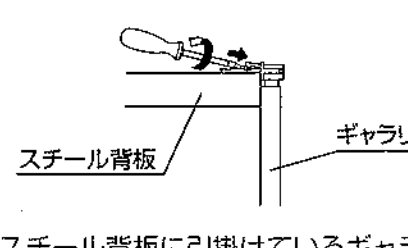
(鏡板の脱着方法)

①鏡板の取外し

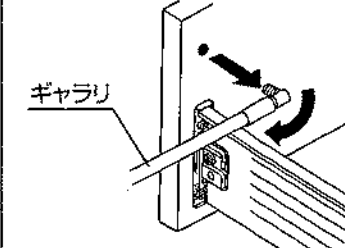


①のねじ(左右)をゆるめて鏡板を取外してください。

②ギャラリの取外し



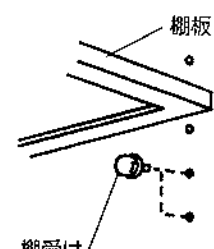
スチール背板に引掛けているギャラリの爪をマイナスドライバーで外してください。



ギャラリを図のように折り曲げ、ギャラリを取外してください。

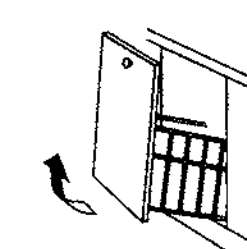
●棚板の動かし方

棚板は可動式となっております。棚板をはずし、棚受をお好みの位置に移動してください。棚受けは隙間のないよう奥まで差込んでください。



●スライド等のはずし方

完全に引出し、持ち上げ、そのまま引出してはします。取付けは取外しの逆の操作をしてください。



■鏡板の左右・上下調整および脱着方法

引出し側板（左右）のカバーの凹み部に爪を引っ掛け取外してください。

●鏡板左右の調整

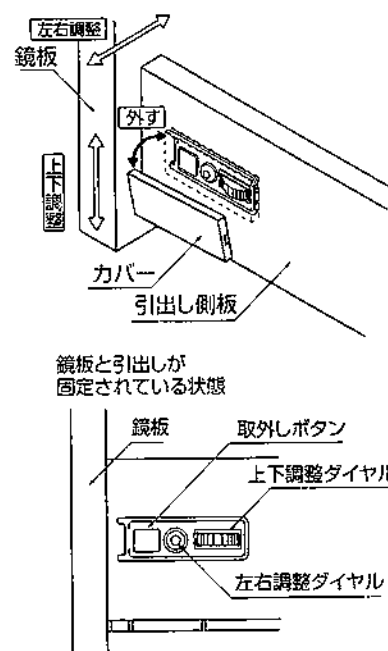
④ドライバーを使い、右側板のネジ部を左右に回し調整してください。左側板は調整ネジは付いておりません。

●鏡板上下の調整

左右側板のダイヤルをUP・DOWN表示に従って回し調整してください。※間口750以上の引出し鏡板（ケコミアダプター）と底板（裏面）を金具止めしていますので、その金具の固定ネジをゆるめてから調整を行ってください。調整後締め直してください。

●鏡板の脱着方法

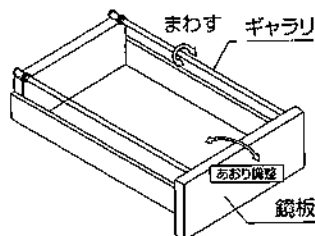
左右の側板の青い取外しボタンを押すと鏡板が外れます。鏡板を取付ける際は、鏡板側の白いフックを側板金具に差し込み鏡板を上から下にカチッというまで押し入れ取付けてください。調整・脱着後は側板のカバーを元の通り戻して下さい。



■鏡板のあおり調整

ギャラリを左右に回しあおりを調整してください。

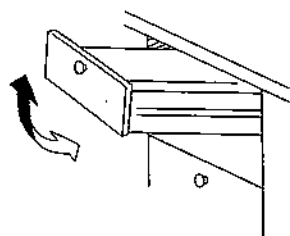
手前側に鏡板を倒す調整をする場合は2mmまでを目安としてください。



プラスチック製引出し（白色）タイプの調整

1. 引出しの取外し、取付け

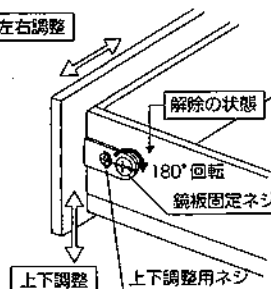
完全に引出した状態で持ち上げ、そのまま引出してはずします。取付けは取外しの逆の操作をしてください。



2. 鏡板の左右・上下調整および脱着方法

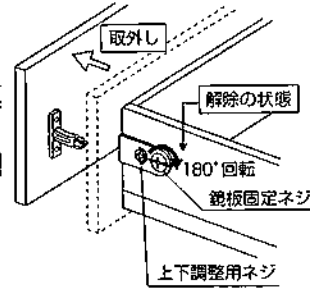
〔引出し鏡板の調整〕

- ①鏡板固定ネジを180°回転し、解除の状態にします。
- ②上下の調整は上下調整用ネジを矢印の範囲で回します。
- ③左右の調整は鏡板を左右にずらすようにして動かします。

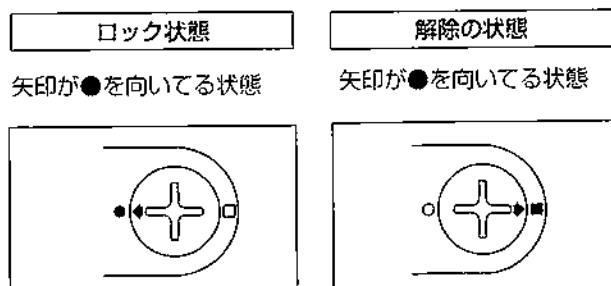
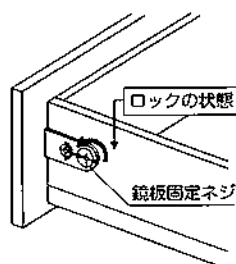


〔鏡板の脱着方法〕

- ①鏡板固定ネジを180°回転し解除の状態にします。
- ②上下調整用ネジの矢印を真横に向けてください。
- ③鏡板の左右を持ち均等に引き張ります。

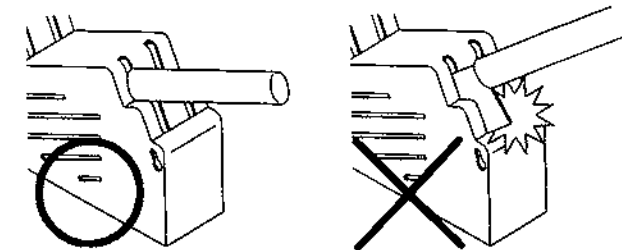


※鏡板の調整・取付け後は必ず鏡板固定ネジをロック状態に戻してください。



⚠ 注意

- 包丁は図のように正しく収納してください。不適切な入れ方をすると刃が収納部より飛び出したり刃先が引出し表面を傷つけるおそれがあります。
- 包丁差し本体を取外す場合は、必ず収納されている包丁を全て取除いて行ってください。ケガをする恐れがあります。
- 清掃等を行う際に、包丁差し本体の端部等でケガをしないようにご注意ください。



＜収納の目安＞

収納本数	刃の長さ	柄の長さ	刃の厚み
4本	210mmまで	140mmまで	7mmまで

上記の目安内でも特殊な形状の包丁（和包丁、外国製包丁等）は収納できない場合があります。

7 扉（開き扉）

開き扉

●扉に乗らない。

⚠ 注意

扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特に、お子さまにはご注意ください。

●やさしく開閉する。

扉は軽い力で開閉できます。あまり強い力をいれずに開閉してください。扉は90度以上開きます。隣のキャビネットや壁などに当たらないよう気をつけてください。扉や取っ手に傷がつきます。

●扉にテープを貼らない。

扉にセロテープやガムテープを貼ると、粘着剤で表面が侵されます。また、剥がした後、汚れが残るおそれがありますので貼らないでください。

●指を挟まない。

⚠ 注意

ドアを開閉する時、指などをはさまないようにご注意ください。特に、お子さまにご注意ください。

●扉に水が掛かったらすみやかに拭き取る。

長時間濡れたまま放置すると、ふくれたり、剥がれるおそれがあります。

8 スマートポケット

スマートポケットの開閉

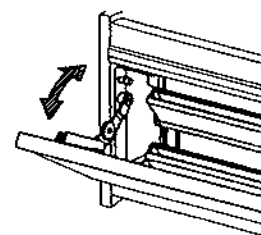
●開け方

取っ手を持ち、手前にたおすように引いて開けてください。

●閉め方

取っ手を持ち、奥側に押してください。

●通常

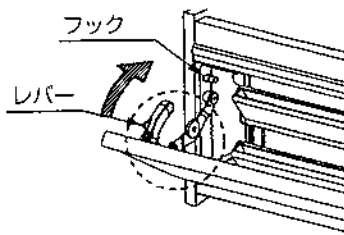


チャイルドロック機能

●ロックの仕方

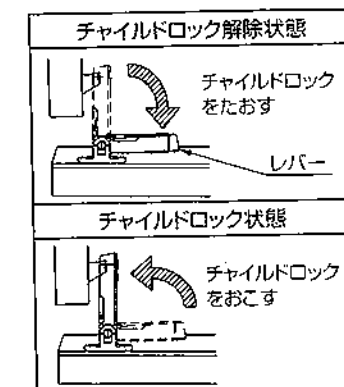
- ①スマートポケットを開いた状態でレバーをおこなしてください。
- ②レバーをおこなしたままで、スマートポケットを閉めると、フックにレバーがかかりロック状態になります。

●チャイルドロック



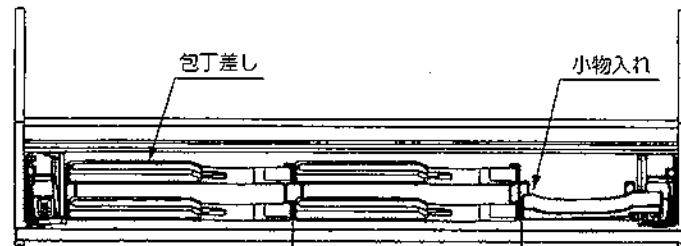
●ロックの解除

扉を少し開けて、レバーをたおしてください。



スマートポケット部収納例

※間口95cm、90cmタイプには小物入れが付いておりません。
※包丁差しには弾力があり、長さが約33cm以下(包丁先端～柄端までの総長さ)、刃の厚みが8mm以下の包丁まで収納できます。

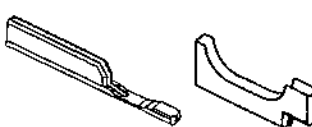


収納可能寸法(約33cm以下)

※注意事項

包丁の刃の向き(下向きに入れる)
包丁の大きさ(可能寸法より大きい物を入れると開閉に支障をきたします)
長さが約33cm以下、刃の厚みが8mm以下でも、デザインによって収納できない場合があります。

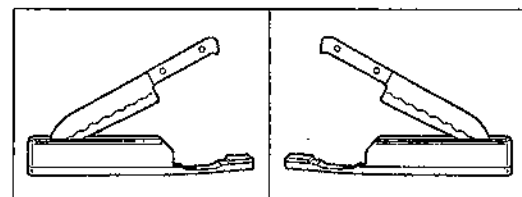
包丁差し ×4コ
小物入れ ※間口105cmタイプのみ付



●収納可能寸法

包丁差し	小物入れ
包丁 33cm以下 刃の厚み8mm以下	キッチンバサミ 12cm以下 21cm以下 厚み20mm以下

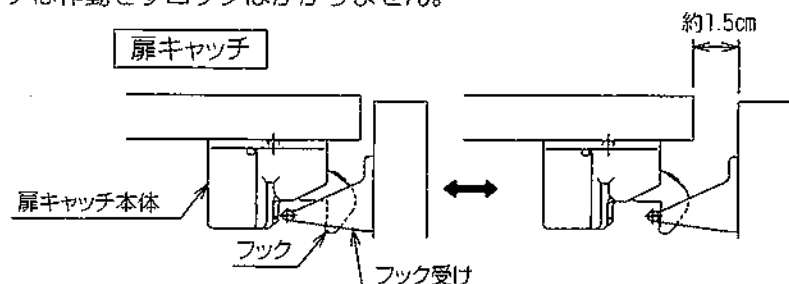
包丁差しは簡単に脱着でき、左右の向きを変えることができます。使いやすい向きでお使いください。



9 扉キャッチ付キャビネット

扉キャッチは地震が発生しキャッチ本体が揺れを感知するとフックが下がった状態で固定され、キャビネット内部の収納物が落下するのを防止します。

- 通常の使用(扉の開閉)においては扉キャッチは作動せずロックはかかりません。
- ロックした場合は、扉を一旦閉め、揺れがおさまってから開いてください。揺れがおさまるとロックは解除されます。
- 扉の開閉は、力を入れずやさしく行ってください。
- 扉キャッチ機能は、建物の構造や階数によって、性能を十分に発揮しない場合があります。

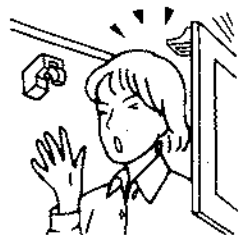


扉キャッチに関する使用上のご注意

⚠ 注意

●頭をぶつけない。

思いがけないケガをするおそれがあります。



●取外したり、分解しない。

取外したりすると、正常に作動しなくなるおそれがあります。

●不安定な積み重ねや、詰め込みすぎはしない。

微妙な揺れで倒れることがあります。
また、倒れた状態で扉をあけると物が落下することがあります。

●手前に小物を収納しない。

扉はロックが掛かって約1.5cm程度開きますので、落下するおそれがあります。

●扉キャッチ本体に汚れや水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。

10 ガス前ガラス・シンク前スクリーン (オプション)

⚠ 注意

●ものをぶつけない。

割れるおそれがあります。

4

調整方法

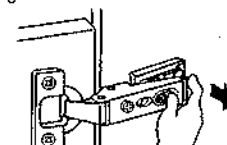
調整方法

1 扉の調整・外し方

フロア、ウォールキャビネット

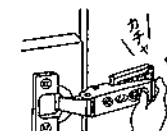
■扉の取外し

1. 丁番の尾の部分(矢印部)を下から押し上げると簡単に外れます。
2. 取外す際は扉をしっかりと支えながらおこない、扉やキャビネットを傷つけないように気をつけてください。



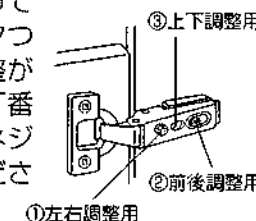
■扉の取付け

丁番内側のピンを、ピン受け部に確実に組み合わせ、上から力チャと音がするまで押し固定します。ピンがピン受け部にしっかりと組み合っていないと、扉が脱落しますので、気をつけてください。



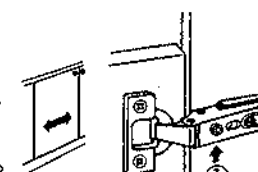
■丁番の調整

扉は左右や前後のズレがないように取付けています。お客様に調整していただく必要はありませんが、お使いになっていて扉がガタついたり微調整が必要な時は丁番の①②③のネジで行ってください。



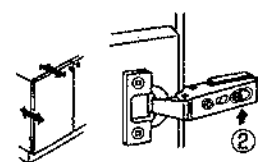
■左右調整

①のネジを右にまわすと丁番側に移動し、左にまわすと丁番と反対側に移動します。



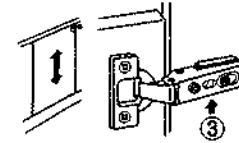
■前後調整

前後の傾きは②のネジで調整できます。



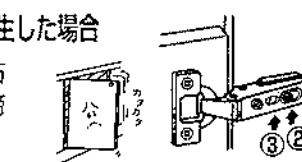
■上下調整

上下に扉が片寄っている場合は③のネジをゆるめて座金の位置を調整します。
(上下2ヶ所の丁番を調節してください。)



●扉にガタツキが発生した場合

②・③のネジを右側に回して硬く締め付けます。



■調整後の確認

扉調整後は、全ての丁番の②と③のネジが締め付けられていることを確認してください。



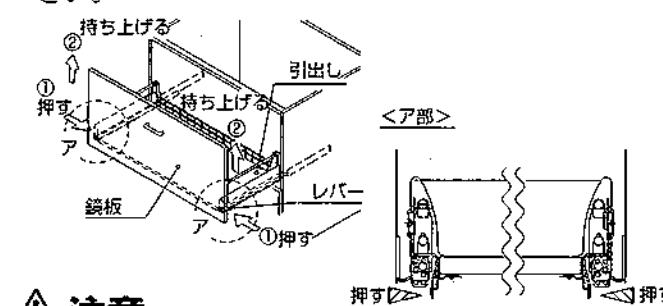
2 引出し・鏡板の調整・外し方

スチール製引出し(グレー色)タイプの調整方法

1. 引出しの取外し、取付け

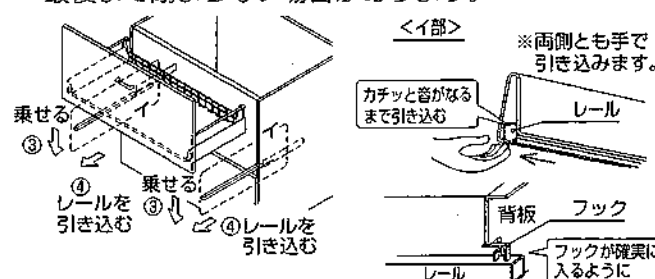
〔引出しの取外し〕

- ①引出しを全開に引き出してください。
- ②引出しの左右にあるレバーを内側に押してください。
- ③レバーを押しながら引出しを持ち上げて外してください。



〔引出しの取付け〕

- ①左右のレールを手前まで全開に引出してください。
- ②レールの上に引出しをのせてください。
- ③扉前面を押しながら「カチッ」と音が鳴るまでレールを手前に確実に引き込んでください。
- ④引出しの背板を上下させ、背板裏面の切欠き部にレールの「フック」が確実に入っているか確認してください。フックが確実に入っていないと、引出しが最後まで閉まらない場合があります。



⚠ 注意

レバーを押さずに、引出しを無理に持ち上げて外さないでください。破損するおそれがあります。